

留学生の新たな可能性をサポート 3つの特色ある キャリア育成コース

1. 地域創生コース

卒業後、即戦力として地元企業に就職し地方経済の発展に貢献する人材を目指します。後継者の不在に直面する企業や、海外展開を図るもしくは検討中の企業でのインターンシップを通じ、OJT(On the Job Training)で経営のノウハウや日本式の人材・生産管理、資材調達、品質管理に対する理解を深め、将来的には企業を率いる人材となるための研鑽を図ります。

2. 起業家育成コース

若手起業家、ベンチャー企業の経営者または投資家と活発に交流し、アントレプレナーとして成功するために必要な知識・素質・スキルを修得。経営者の右腕としてインターンシップを経験し、ビジネスプランや資金計画の策定についてより深い理解を促し、会社を起こすプロセスを学びます。また、国内外のビジネス・コンテストへの参加や在学中の起業にも挑戦する経験を通じ、豊かな発想力と創造力を新事業につなげる力を育成します。

3. グローバル企業コース

国際社会を牽引する日系大手グローバル企業もしくは在日外資系企業への就職を目指し、様々な大学の学生と共に研鑽を積み、高い日本語能力と専門知識といった高度なスキルを習得します。日本の大企業の文化や慣習、ワークスタイルを理解し、業界・企業研究を進め、共に就職活動に取り組むことになる仲間とのネットワークを作ります。日本の大手企業でのライフキャリアを考える絶好の機会になります。

ビジネスで活用できる日本語に現場で触れる経験など、就職を考える上で貴重な経験になります!



大手素材メーカー内定
張 志林さん
東北大学大学院 経済学研究科修了
(2019年3月)

プログラムの特徴

コンソーシアムの活用と構築

プログラムを円滑に推進するため、地域密着型の産学官と連携し既存のコンソーシアムを有効活用しつつ、本プログラムで着手する高度イノベーション即戦力人材の育成に特化した包括的なコンソーシアムを新たに形成しました。「東北イノベーション人材育成コンソーシアム」は、東北大学、宮城学院女子大学、東北工業大学、東北学院大学と宮城県、仙台市、東北経済連合会、宮城県中小企業団体中央会、仙台商工会議所、東北大学校友会で構成され、プログラムを支える屋台骨となります。

日本人学生との共修およびペアワーク

留学生と国内学生が共に協力して課題解決に臨み、互いの価値観やワーク・スタイルを理解しチームで共通の目標に向かって努力し、成果を共有する体験学習を取り入れます。また、インターンシップにおいても、留学生と国内学生を対で配置する「ペア・インターン」を実施し、留学生受入れ経験のない中小企業の負荷に対する不安の解消を図り、日本人学生が留学生と受入れ企業のリエゾンの役割を果たすことで、グローバル企業に就職した場合の疑似体験が出来ます。

メンター制度

最初の数年間はコンソーシアムのメンター支援型インターンシップ受入企業の社員もしくは卒業生がプログラム生のメンターとなり就職活動を支援。プログラムの修了者が輩出する3年目からは修了者がメンターとして後輩を支援することで、プログラム生がメンターを通じて企業や就職活動に関する最新の情報を入手することができ、また情報やノウハウの世代を超えた好循環が留学生の就職支援の自立化を促すという効果も期待できます。

DATEntre 参加学生インタビューから見える課題

日本人学生と 同様の課題

1. 就職活動スケジュールへの対応
2. 学業・アルバイトとの両立
3. 書類作成の難しさ
4. 相談できる相手の有無

日本人学生と 異なる課題

1. 適切な日本語の選択
2. 文字通りではない事柄への理解・対応

これらを解決し、日本人学生の感覚を持ちつつ
外国人留学生ならではの『強み』を出していくことが鍵

課題解決に向けて

日本での就職を 早い段階から考える 機会作り

本プログラムでは N2 以上の日本語能力、書類作成のための準備など、多大な時間と労力を要する日本の就職活動を早期より学生に伝え、日本の就職活動に対する理解を促し、早期から準備に取り組みせる。

東北イノベーション 人材育成プログラムの 認知度の向上

各大学の学内広報等の活用により、教職員の本プログラムについての認知を高め、学生に伝わるようにする。

日本語での 交流会の増加

企業の人事担当者や先輩社員など、実際に日本で働いている社会人との接点やビジネス場面での日本語を使う機会を早期より提供し、必要性の認識を促す。

課題解決に向けての取り組み

交流会、インターンシップ & 各対策講座開講

【2018年9月】
▼プログラムガイダンス



【2018年6月】
留学生と外資系企業
のための交流会▶



【2018年12月】
▼企業向けセミナー



【2018年12月】
GD対策講座▶



【2018年12月】
▲内定者座談会



【2018年8月】
▼インターンシップ参加
(大和ハウス工業株式会社様)

【2018年9月】
▲インターンシップ参加
(ツネマツガス株式会社様)

インターンシップに参加した 留学生の感想

敬語やビジネスマナーでの電話の受け答えや話し方などは、慣れるまでに時間がかかったから、早めに手を付けてどんどん実践して覚えるといいかも!

留学生を受け入れた企業の感想

非常に意欲的に取り組んでくれ、挨拶なども非常に礼儀正しかったのが印象的でした。日本語での意思疎通に少しの課題を残しながらも、翻訳アプリを駆使して互いにコミュニケーションを取り合うなど、その場その場で対処しており、解決力の高さを感じました。こちらの話す意味を理解し、汲み取ろうとする表情や態度が優れていました。

DATEntreプログラムの外国人留学生 就職内定者に聞く 等身大座談会

日本や地元宮城県での
就職活動にまつわる、
学生の想いや等身大の
就活トークです。



大手金融機関内定

BYUN JUNHOさん

東北大学 経済学部卒業
2019年3月
出身：韓国
趣味：地元球団野球観戦、AKB48が好き

大手電機メーカー内定

王 茹さん

東北大学
2019年3月
東北大学大学院 経済学研究科修了
出身：中国
趣味：旅行 & 温泉巡り

大手素材メーカー内定

張 志林さん

東北大学
2019年3月
東北大学大学院 経済学研究科修了
出身：中国
趣味：おいしいもの食べ歩き

大手IT企業内定

エキ カジンさん

東北大学
2019年3月
東北大学大学院 文学研究科修了
出身：中国
趣味：旅行 & おいしいもの食べ歩き

どうして日本で就職を？

張 志林 (以下 張) 日本での暮らしや環境に慣れてきたことがきっかけかな。

BYUN JUNHO (以下 B) 僕も在学中の色々な経験がきっかけになってる。バイトや野球観戦が好きで東北楽天ゴールデンイーグルスを応援しにいたりしてうちに、地元での交流が楽しくなって。それが決め手になったかも。

王 茹 (以下 王) そうだね。私も大学生時代から色々なサークルや団体に所属して活動していたから、そこでの経験からもっと広いフィールドで活躍したいと思って就職を考えたかな。

エキ カジン (以下 エ) 4年間大学でせっかく日本語を勉強したし、活かしたいという思いもあったな。日本は人材の教育制度がしっかりしていると感じることが多くて、それも決め手の1つだったよ。

日本での就職はいつごろから考え始めた？

王 > 夏に参加したインターンシップ後からかな。

張 > 私もそうかも。大学院に入る前に考えてはいたけど、気持ちが固まったのはこの経験がきっかけ。

B > 僕は日本に来る前にはもう決めていたな。あらかじめ、日本に就職した先輩に話を聞いていたから不安はなかったし。



就職活動を通して感じたこととは？

B > 一番感じたのは文化の違い。母国では勉強や試験で高得点を取ることが就活では重視されていたけど、日本ではサークル活動やバイトの経験などが重視されているイメージがあって、これは意外だったな。

王 > 就職活動や企業に関する情報が溢れていて、活動を始める前の情報整理が難しかったと感じたな。Excelで企業情報や企業研究の情報を自分なりにまとめて対応すると、見やすいし振り返りやすいからオススメだった！

張 > 自己分析の壁にぶつかったよ。普段意識することがない部分を、言語化するって難しいよね。友だちにたくさん聞いてもらうことで発見があって自信になったり、反省もできて就職活動を通してとても有意義な経験になったよ。

エ > やっぱり準備が大事ということ。気になる企業の調査や求められている人材像をイメージしたり、張さんの言う自己分析だったり。そして自分がやりたいことを事前に明確にして、就活は早めに始めた方がいいって点かな。ビジネスマナーを覚えるのも早いうちからがいいと思う。

「働く環境」という点で、母国と日本との違いは？

王 > インターンシップ中で気が付いたのだけど、日本は本人のやる気やポテンシャル、グループでの活動を重視して見ているよね。対して母国では、個人のスキルを重視していると感じるかな。

エ > 日本はジョブローテーションなどもあって、その業界を広く学べるイメージで、母国では専門性を極めていく働き方という感じがあるかも。

張 > そうだね、あとは日本は人材育成が充実してるって感じる。新人研修などで基礎をしっかり教えてくれるのは日本企業の素敵なおところだな。

B > 先に日本に就職した先輩から聞いた話で、採用の際にはスキル以外に人柄も重視されると聞いて。さつきエキさんが話していたことだね。能力だけではなく、一緒に働きたい人柄であるかどうかを見られているよね。あとは福利厚生が手厚い点が魅力的！

大学で学び役立ったことは？

張 > 大学時代は日本語学科に在籍していたので、やっぱり日本語を深く学んだこと！そしてDATEntreの「キャリア教育・日本語」のビジネス日本語で学んだ、ビジネスレベルの日本語や就活に必要な手続きや日本の企業文化に対する考え方が役に立った！

エ > 大学院で学んだデータ分析や演習、ワークショップの授業で得たことが多かったかな。

B > グループワークの授業も有益だったよね。日本人の友達とやり取りする際、外国人ならではの視点を活かして話すことができた経験が、日本で就職する自信にもなったし役立ったよ。



今後の仕事や私生活、10年後に目指す姿は？

エ > 仕事面ではその分野のプロとして、何事にも柔軟に対応できるような人になりたいな！英語が好きなので、海外でも活躍したい。私生活ではワークライフバランスをとって、色々なことを楽しみながら暮らしたいな。

張 > 私も3~5年で仕事の基礎を学んで、海外でも活躍したいな。どんどん自分の引き出しを増やしていきたいってワクワクしてるよ。私生活面では友達を増やしていきたい！



B > 僕は自分が留学した経験から、海外で活動する際の不安や不明点を踏まえて、海外で活躍したいというお客様のビジネス進出の助けになる人になりたいな！私生活面では、住みやすく魅力的な宮城県を満喫しつつそろそろ結婚したいななんて思ったり(笑)。

王 > 私も信頼されて仕事を任せてもらえるようになりたいな。私生活面では、今まで続けてきたボランティア活動をこれからも続けていきたい！

B > ボランティアを？ どうして？
王 > 高齢者の方々と話す機会が多いんだけど、暮らしや人生についてのアドバイスやためになるお話を聴けて学びが多いの！色々な経験を積んでいきたいなあっていう気持ちになるからだよ。

日本、宮城県で就職希望の留学生へアドバイスを

B > なんでもここで働きたいのかを明確にしておいた方がいいと思う。留学生ということで採用サイドが不安になることもあるし、自分のためにも理由を明確にしておくことで行動しやすくなるよ。



エ > 就活期間は長いから、集中してしっかり取り組むことかな。あとは気分転換が大事！時には面接に落ちて気分が落ち込むこともあるけど、自分が最高の状態で次の試験を迎えられるように！

王 > 早めに行動することが大事かも。就活中は迷うシーンが多いから、迷ったら早めに色々な人に会い、話を聞いて調べたりすることで、気付けることや見えてくることもあるよ。

張 > 分からないことがあったらすぐに確認することを習慣づければ、不安も解消されてストレスも減るよ！



就職活動の舞台裏

私たち こうして日本語覚えました

就職活動を
経た先輩の
リアル勉強法を
公開！

日本語を「話す」ことに慣れるには、サークル & 団体所属がオススメ

「話す」ことに慣れるには実践あるのみ！私は「仙台観光国際協会」や実習活動を行うサークルに所属したり、ボランティア活動を通して学んだよ。

とにかく実践あるのみ

敬語やビジネスマナーでの電話の受け答えや話し方などは、慣れるまでに時間がかかりました。早めに手をつけてどんどん実践して覚えると良いと思います。

「好きなこと」をきっかけに楽しく覚える

僕はアイドルが好きだったから、TVや友達との会話から吸収していったよ。好きなことをきっかけにすると楽しいし覚えもスムーズ！(笑)

ビジネスコンテストへチャレンジ！

日常会話はできるようになってもディスカッションが苦手なこと気づいて…。思い切ってビジネスコンテストに参加し、日本人の友達と一緒に勉強したよ！

調査

(参考)
東北大学外国人留学生 学生生活調査
リアル アンケート

期間

2016年12月16日～2017年1月10日

方法

日本語・英語でのWEBアンケート

対象

東北大学に在籍している外国人留学生
 (学部生、大学院生、交換留学生、研
 究生など) 計 2,161 名
 有効回答者数 605 名

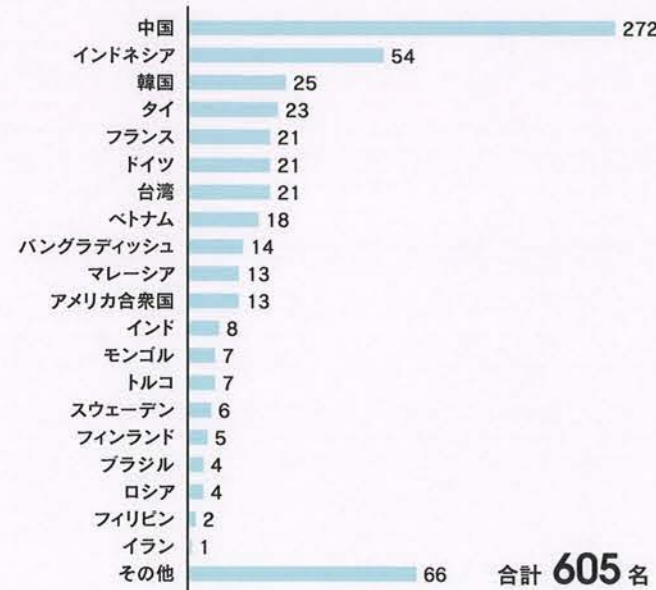
目的

東北大学に在籍している外国人留学生の
 キャンパスにおける学習・研究生活の実
 態を把握し、今後の国際化の進展や留
 学生が直面する問題を把握し、留学生の
 教育・支援や学内外への情報発信の改
 善に繋げる。

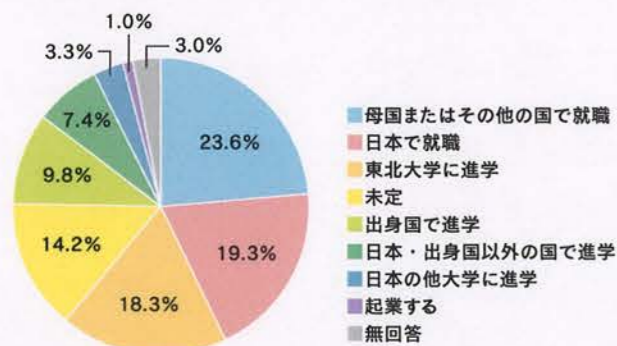
アンケート内分類

合計 **605** 名 男性 **59.0%** 女性 **40.7%** その他 **0.3%**

Q1 出身国



Q2 卒業後の進路で最も可能性の高いものは



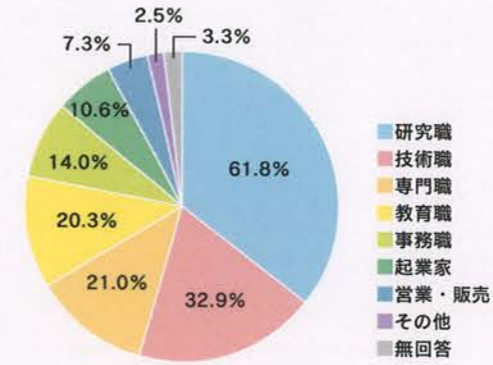
Q3 就職先を選ぶ際に重視すること (複数回答可)



日常生活で日本語を使用する留学生の「仕事内容が魅力的」(51.1%)に対し、英語を使用する留学生は30.1%。また英語を使用する留学生の「専門性が活かせる」(32.3%)に対し、日本語を使用する留学生は15.6%と、生活言語の違いで志向が異なることが分かる。

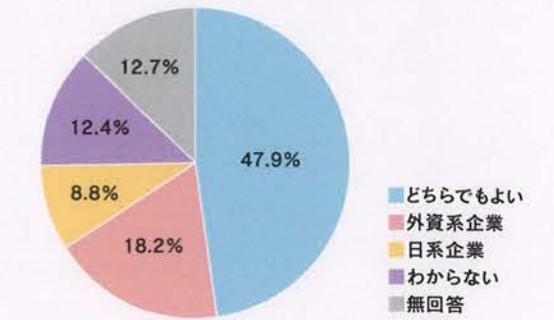
日常生活で日本語を使用する留学生の間では「日本で就職」が34.9%、英語を使用する留学生では「母国またはその他の国で就職」が27.4%と最も多かった。英語を生活言語とする留学生の「日本で就職」は10.5%にとどまった。

Q4 将来希望する職業 (複数回答可)



日常生活で英語を使用する留学生には「技術職」を希望するものが多いよう。

Q5 就職を希望する企業の種類



Q6 就職に対する不安 TOP5 (複数回答可)



Q7 大学で受けてほしい就職支援サービス (複数回答可)



日常生活で英語を使用する留学生では、日本国内・海外でのインターンシップを合わせると52.2%の留学生がインターンシップを行う機会の情報提供を希望しており、日本語をメインで使用する留学生。



DATEntre プログラム参加学生は日本企業への就職も多数。プログラムに参加することによって就活の対策が練られ、就職率が上がっているんだね